



2013

コーポレート・シティ
ズンシップ
レポート・サマリ

概要

コーポレート・シティズンシップは、TIが持つ社会的、環境的、経済的な影響について、自らが説明責任を負うというコミットメントです。私たちは世界各地での活動に対し高い基準を設定しており、社内とサプライ・チェーンの両方において倫理的な商習慣とコンプライアンスを重視しています。

シティズンシップ

TIのコーポレート・シティズンシップ・コミットメントは以下の内容にわたっています。

- 会社の運営。
- 製品に対する責任。
- 環境への責任。
- 従業員の福利厚生。
- 地域へのコミットメント。
- アドボカシー。
- コーポレート・ガバナンス。

部門を超えた経営陣で構成されるTIのシティズンシップ戦略チームは、以下の領域で弊社の取り組みを推進します。

サステナビリティ

サステナビリティは、主に業務の遂行において重要です。私たちは、持続可能で責任ある行動を取ることで、将来の世代に負担をかけることなく、現在のリソース・ニーズを満たすことができると信じています。TIは製造過程、オフィス業務、流通において無駄を削減し効率化することで、サステナビリティを目指します。持続可能な発展を続けていくために、TIは年間目標と複数年の目標を立てています。年間の目標では継続的な改善とコスト削減を重視しており、エネルギーや化学物質の使用量、水道光熱費の削減などを目標にしています。



レポートの範囲

本書は TIの2013 年の業績を社会的および環境的側面から評価したものです。本書では、TI が 100% 所有している世界の全事業について記載しています（別途記載の箇所を除きます）。「TI」、「弊社」、「私たち」などの用語は TI の事業運営を指し、区別せずに使用しています。通貨はすべて米ドルで表されます。

グローバル・レポーティング・イニシアティブ

2013 コーポレート・シティズンシップ・レポートの詳細は Web で入手いただけます。ti.com/ccr をご覧ください。コーポレート・シティズンシップ・レポートの作成にあたり、グローバル・レポーティング・イニシアティブ（GRI）のサステナビリティ・レポーティング・ガイドライン（G3.1）を使用しました。レポートは現在第 8 版まで作成されており、GRI の自己評価アプリケーション・レベル A の基準を満たしています。詳細については、ti.com/ccr-gri-index をご覧ください。

受賞および表彰

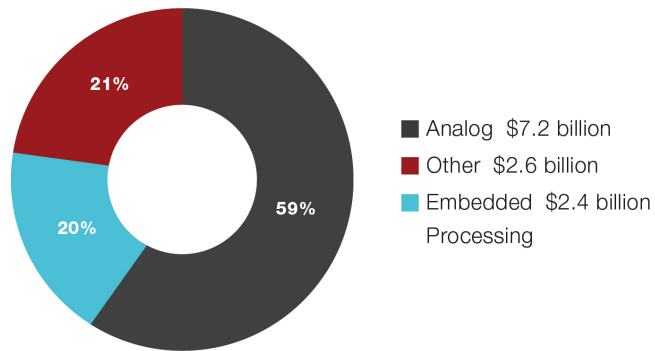
2013 年、TIはさまざまな外部団体からその社会的、環境的な活動が表彰されました。

- ・ CR マガジンの「100 ベスト・コーポレート・シティズンズ」と、IT 部門の「10 ベスト・コーポレート・シティズンズ」に選ばれました。
- ・ エシスフィア・インスティテュートの「世界で最も倫理的な企業」に選ばれました。
- ・ フォーチュン誌の「世界で最も賞賛される企業」に選ばれました。
- ・ Thomson Reuters の「トップ 100 グローバル・イノベーター」に選ばれました。
- ・ ワーキング・マザー・マガジンの「ワーキング・マザーに適した企業ベスト 100」に選ばれました。

すべての受賞のリストは、ti.com/ccr-awards をご覧ください。

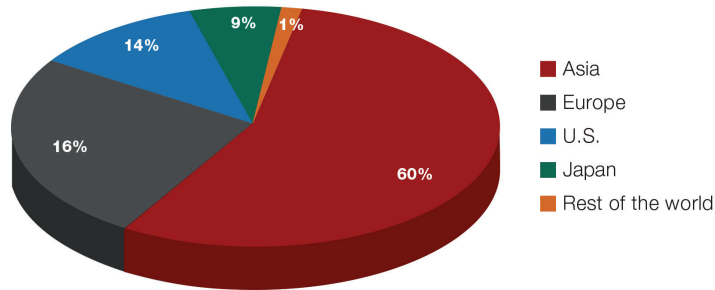
2013 年度の概要

Revenue by segment

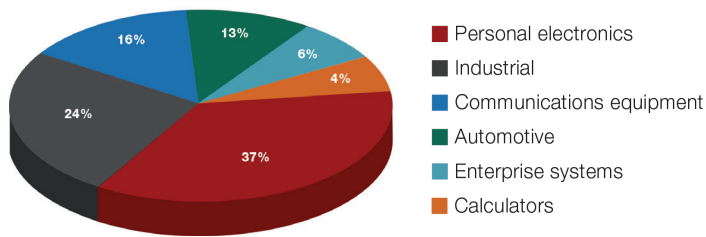


2013 total revenue: \$12.2 billion

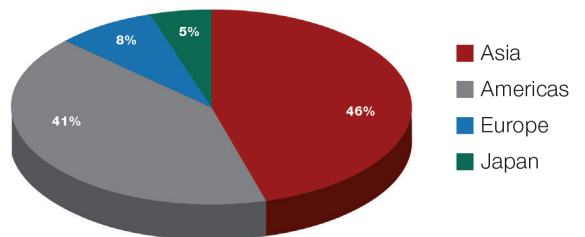
Revenue by region



Product revenue by market



Employment by region





最高経営責任者からのご挨拶

より良い未来に技術で貢献することが私たちの仕事です。それはまず、世の中で最も重要な課題を理解するということから始まります。次に、世界を変えるソリューションを開発し、それを作って行くのです、もちろん正しい方法で。

私たちは、環境を破壊せずに収益や利益を生み出す、寿命の長い製品とテクノロジーに注力しています。このような製品ではほぼ例外なく、効率と保全を高いレベルで実現することで、エネルギー消費を削減する課題に取り組んでいます。弊社のイノベーションを活用することにより、お客様は自社製品を未開拓の市場や新興市場に投入でき、また、製品の安全性と信頼性を高めることができます。

弊社では、ビジネスをより強化するために、過去数年にわたり、新しい設備や製造ツールの購入と取得を進めてきました。これらの増強により、供給の継続性が確保され、同時に最も高度なプロセス・テクノロジーを使った差別化された半導体ソリューションを提供できるようになります。これらの工場と装置を TI の高い基準に引き上げるべく努力するとともに、世界規模の環境に配慮した適切な設備規模で、責任を持って事業を運営する取り組みを継続します。

また、電子業界 CSR アライアンスを通じたサプライ・チェーンと製造の監査基準に関して、業界全体と協力しています。このような問題解決に対するアプローチによって、リスクや関連コストを抑制しながら、新しい規則に基づいて責任のあるサプライ・チェーンを構築しコンプライアンスを実現することができるのです。

科学、技術、工学、数学（STEM）教育への投資の継続は、当然のこととして決定されました。有能な人材や最高レベルの研究を活用することは、現在と将来にわたり、弊社のビジネスに欠かせません。2013 年に TI とその慈善部門が K-12 教育プログラムの支援に 700 万ドルを、大学プログラムの支援に 2,600 万ドル以上を助成した理由はそこにあります。

世界の優れた才能を活用することで、すばらしい成果が実現することを我々は理解しています。従業員の努力によって、TI が「トップ 100 グローバル・イノベーター」に再度選出されたことを誇りに思います。また、弊社は、「ワーキング・マザーに適した企業ベスト 100」、「100 ベスト・コーポレート・シティズンズ」、「世界で最も倫理的な企業」にも選ばれました。業界最高レベルの人材とともに働き、優れた企業として認められるのはとても名誉なことです。

2014 年以降も、エキサイティングな道のりが続きます。TI では、ステークホルダーの社会活動や環境活動への参加をより正式に推進しています。これは、今後数年間、弊社や様々なコミュニティの、最も重要な課題に対する弊社の取り組みに役立ちます。

Rich Templeton
会長、社長兼最高経営責任者

TI は世界 35 か国に製造、設計、および営業拠点を持っています。



*TI は世界 35 か国に製造、設計、および営業拠点を持っています。このレポートでは、2013 年 12 月 31 日時点で従業員数が 100 人を超える 1) すべての製造施設と 2) 設計および販売拠点を主要運営拠点（重要拠点）と定義しています。



事業内容

TI はアナログ ICと組み込みプロセッサを設計および製造しており、100,000 を超えるお客様の革新的なプロジェクトをお手伝いをしています。

2013 年の実績

シティズンシップ

私たちは、自分たちが社会、環境、および経済におよぼす世界的な影響について説明責任を負うと考えています。

- ・ 活動推進委員会を立ち上げ、会社のシティズンシップに関する取り組みを推進するための推奨事項の策定を開始しました。
- ・ グローバル・レポート・イニシアティブの最新レポート・フレームワーク G4 について、2015 年の正式採用を目指し、レビューを開始しました。
- ・ エネルギーや水使用量の削減、無駄や化学薬品の使用の低減、従業員の安全向上などの継続的な改善とコスト節約につながる年間目標を設定しました。従業員のボランティア活動時間を 25% 増やす目標を設定し、結果的にそれを上回りました。
- ・ エネルギーと温室効果ガス (GHG) 排出量を削減するという 5 年間の目標に向けて進展がありました。

ステークホルダーとのつながり

私たちはさまざまなフォーラムを通して、広範囲にわたるステークホルダーとの関係を築いています。

- ・ 外部による調査によって、環境、社会、ガバナンスの重要課題を決定し、従業員、上級役員、業界団体、コミュニティ・パートナー、および投資家などの主なステークホルダー・グループの結び付きを強めました。
- ・ 従業員が様々なツールやリソースをまとめて利用できるように、新しいオンライン従業員ポータルを立ち上げました。
- ・ コミュニティのニーズに関する従業員教育を世界規模で引き続き実施しました。これにより、従業員は時間、専門知識、費用をコミュニティを強化のために適切に使うことができます。
- ・ TI のキャピタル・マネジメント戦略を投資家に示しました。その中で、過去の慣例を体系化し、それらの慣例を将来も適切に継続できるということを再確認し表明しました。
- ・ 弊社のエンジニア間 (E2E) コミュニティを通じたお客様との関わりが 40% 以上増えました。
- ・ TI の革新的なカスタム専門家諮問委員会の規模が拡大し、実働会員が 92 か国、5,000 人を超えました。
- ・ エンジニアの大学卒業率を高め、競争力のある社員を育成するアイデアを共有するために、教育専門家、4 年制の機関、およびコンソーシアムと協力しました。



事業内容

- ・ 数学に関する全米共通学力標準を適切に導入できるように、TI-Nspire CX および TI-84 Plus 計算機用の無料リソース、授業に使える課題、専門的能力開発プログラムを教育関係者に提供する TIcommoncore.com を立ち上げました。
- ・ 米国半導体工業会や Information Technology Industry Council などとの協力を継続し、多数の優先政策事項を前進させました。
- ・ 約 1,200 のコミュニティ・パートナーと従業員に対して調査を実施し、弊社のコーポレート・シティズンシップ・プログラムの認知度を評価しました。その結果を踏まえ、情報発信を改善しました。

事業の継続性

事業の中断に備えた活動を維持しています。

- ・ 事業継続性の計画、対応、回復の取り組みを世界規模でさらに強化するため、事業継続性計画の方針を更新しました。
- ・ 重要な資材の代替供給元を特定および取得するため、弊社のサプライ・チェーンを図表化しました。
- ・ 重要なサプライヤの事業継続性プログラムを評価しました。
- ・ サイバー攻撃の増加を阻止する対策を取りました。
- ・ テロ防止のための税関産業界提携プログラムのメンバーとして認定を受けました。また、弊社は、米国国土安全保障省の化学施設対テロ基準も満たしています。
- ・ すべての主要な製造拠点で緊急対応チームの調査を実施し、緊急対応の準備状況を確認しました。
- ・ 緊急情報をより迅速、効率的かつ高い信頼性でステークホルダーに提供するために緊急通信システムを強化しました。

サプライヤに対する責任

弊社は数千社のサプライヤと密接に連携し、責任を持って革新的な製品を製造および提供しています。

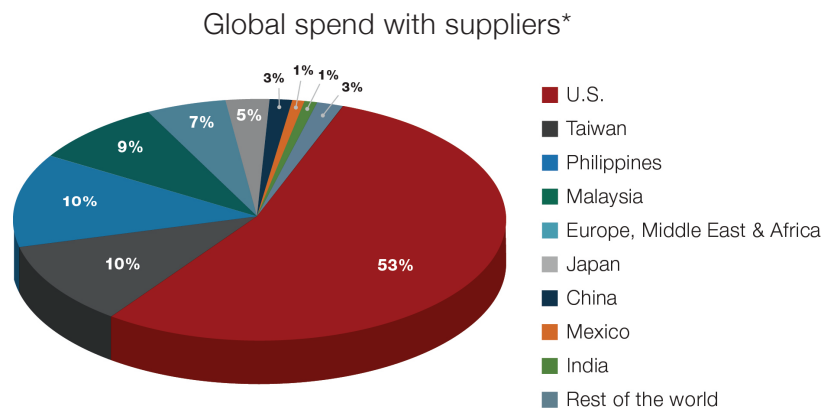
- ・ 弊社が遵守する電子業界 CSR アライアンス (EICC) の行動規範と同じ基準をサプライ・チェーンに浸透させるため、サプライヤの行動規範を策定しました。また、EICC の評価質問書に回答するようサプライヤに要請することを開始しました。
- ・ 重要なサプライヤに対して定期的なリスク評価を実施し、サプライヤの適格性、財務実績、および事業継続性計画が弊社の基準を満たしていることを確認しました。
- ・ コンプライアンス計画における今日までの取り組みについて外部による評価を依頼し、プログラムと進捗状況が、他社と比較し適切なレベルにあることを確認しました。
- ・ 米国の購買額の少なくとも 5.5% をマイノリティおよび女性所有のサプライヤに投じるという目標を上回りました。
- ・ マイノリティの事業を取り入れる弊社の取り組みにより、Dallas/Fort Worth Minority Supplier Development Council の「自社製品購入先からの購入によるベスト・プラクティス賞」を受賞しました。
- ・ 自動車メーカー 2 社から優秀サプライヤとの評価を受けました。



事業内容

今後の計画：2014 年以降

- ・ 米国証券取引委員会に、紛争鉱物開示情報を初めて提出します。
- ・ EICC の正会員としての役割を遂行するため、サプライヤ評価結果と管理要件を 2015 年までに正式に報告します。
- ・ 高リスク認定を受けたサプライヤの 25% に対して EICC が支援する監査を開始し、それらのサプライヤの労働者、倫理観、労働安全衛生、および環境に関する慣行について評価します。
- ・ 米国の購買額の少なくとも 6% をマイノリティおよび女性所有のサプライヤに投じます。
- ・ サプライヤを訪問し、事業継続性プログラムおよび緊急対応の準備状況を評価および確認します。
- ・ 事業継続性管理の国際標準 ISO 22301 を 2016 年までに導入するための取り組みを開始します。
- ・ コンピュータ・ネットワークやシステムを積極的に監視および点検することにより、脆弱性や不審な活動を特定し、サイバー攻撃を防止します。
- ・ 新しい TI コーポレート・シティズンシップ Web サイトとブログを www.ti.com/citizenship に立ち上げ、TI の社会的責任および環境的責任のポリシー、慣行、プログラムについて、タイムリーに情報を提供し、ステークホルダーの関与を容易にします。
- ・ 会社の新しい公式ブログ Think. Innovate を立ち上げ、TI と半導体業界に関連する事業上の課題について、戦略的で適切なコンテンツを提供します。



*Approximately 6 percent of U.S. spend was with diverse suppliers.



製品に対する責任

弊社のイノベーションは、多数の業界で、製品の製造効率アップや信頼性、安全性の強化に役立っています。

2013 年の実績

イノベーション

80 年以上にわたり、私たちの成功の核になってきたのは技術革新でした。

- ・ エネルギーの管理、安全性とセキュリティの確保、医療の進歩の推進、クラウド・コンピューティングの実現、テクノロジーに基づくエンターテインメント体験などに役立つ、画期的で継続的なイノベーションを実現するために、15 億ドルを研究開発に投資しました。
- ・ 半導体研究会社 (SRC) を通じて 1,220 万ドルを大学での研究資金として提供しました。
- ・ 選ばれた大学で実施されている約 980 万ドルの価値がある基礎研究や応用研究に資金援助しました。
- ・ SRC のナノエレクトロニクス研究イニシアティブに参加して、5 年フェーズの大学研究を開始し、グラフェンに基づくテクノロジーの応用を推進しました。
- ・ インドのバンガロールに TI India Engineering Lab を開所し、同じくインドのネータージャー・スバース工科大学に Center of Excellence for Embedded Product Development を開設しました。

持続可能な製品設計

私たちは、お客様の抱えている問題を解決し、お客様の技術的要望を予測してニーズを満たせるよう誠実に取り組んでいます。TI は以下の項目を立ち上げました。

- ・ 公共事業体が正確で安全かつ信頼性の高いエネルギー消費量測定値を簡単に受信できる、きわめて正確な多相計測システム・オン・チップ。
- ・ 太陽光設備を単純化し、よりクリーンな太陽光発電を迅速に導入するためのシステムおよびリファレンス・デザイン（開発キットとソフトウェアを含む）。
- ・ 製品の開発時間を短縮しエネルギー効率を高める InstaSPIN™ モーター制御テクノロジーとソフトウェア・ソリューション。
- ・ タブレット、スマートフォン、その他のコンシューマ・エレクトロニクス製品のバッテリー充電時間を 20% から 30% 短縮する、特許申請中の MaxLife™ 高速充電テクノロジーを採用した 2 つのパワー・マネージメント・チップセット。
- ・ 可変負荷のもと、劣化したセルにおいて最大 50% 長い動作時間を実現する、業界最小の高精度リチウムイオン・バッテリー残量計集積回路。
- ・ 調光性能と照明性能を維持したままエネルギー消費とコストを削減する、LED 電球の新しいトポロジー。
- ・ 最終アプリケーションが使用できるハーベスト・エネルギーの量を他のデバイスより 70% も増やす、業界で最も消費電力の少ない DC/DC 降圧コンバータ、超低消費電力回路。
- ・ 自動車の安全性、燃料消費、機能性を実現する 100 を超えるアナログ製品と組込み製品。



製品に対する責任

- ・ 自動車設計者が国際安全基準をより簡単に満たすのに役立つ SafeTI™ 設計パッケージ。
- ・ ウェアラブル・ヘルス・モニタなどのポータブル医療デバイスのバッテリー動作時間を 50% 以上延ばす、業界最小の高精度リチウムイオン・バッテリー残量計集積回路。
- ・ 点滴、血液検査、その他の医療行為において、医療従事者が静脈を探すために針を刺す回数を減らすのに役立つ、DLP® 医療用画像ソリューション。
- ・ 偽造や不正の防止に役立つ指紋認証や顔スキャンなどのセキュリティ・アプリケーションを開発するための更新版 LightCrafter キット。
- ・ 建築、建設、工業デザイン、オートモーティブ、航空宇宙、軍事用、および民生用のエンジニアリング・アプリケーションで使用する詳細なモデルを短時間で作成する新しい DLP 3D プリンタ・ソリューション

今後の計画：2014 年以降

- ・ 未来のエレクトロニクスの基礎となるテクノロジーの実体験をお客様、学生、大学の研究者に提供するキルビー・ラボ・イノベーション・スタジオをダラスに開設します。
- ・ 収益のうち少なくとも 12% を研究開発に投資し、画期的で継続的なイノベーションを実現します。
- ・ 公共事業体や消費者が電気、水道、ガスの使用量を測定および管理できるよう、スマート・メーターの導入を加速させます。
- ・ 新しいアプリケーションを実現する小型で携帯性に優れ、効率的で強力なセンサの設計を継続します。
- ・ 安全で信頼性の高い方法で、大規模な太陽光設備のエネルギー・ハーベスト能力を高めます。
- ・ スマート・グリッド、風力発電所、データ・ネットワーク・システムのエネルギー貯蔵に使用するバッテリー・バックアップ・システムを正確に測定し管理する、革新的なバッテリー管理テクノロジーを公開します。
- ・ 環境に負担をかけないエネルギーを使用して小型のエレクトロニクス製品に電力を供給する高度なテクノロジーを設計し公開します。このテクノロジーにより、総所有コストを削減し、メンテナンスやバッテリー廃棄物を減らすことができます。
- ・ 半導体照明や電子安定性などの性能や安全性を高めるオートモーティブ用電子システムを開発します。



環境への責任

私たちは、資源の保護や世界中の拠点における業務の効率化など、環境的実績を継続的に改善するよう取り組んでいます。

2013 年の実績

大気環境

私たちは、法で定められている以上に排気を自主的に低減しています。

- ・ 弊社のパワー・マネジメントと再生可能エネルギー・テクノロジーの設計への取り組みが、North Texas Commission の「最も革新的」部門の「2013 年クリーン・エアへの取り組み賞」に選ばれました。
- ・ 粒子汚染に関する、米国環境保護庁（EPA）の新しい大気環境基準に準拠しました。
- ・ 米国内の拠点からの窒素酸化物の排出量が 24% 減少しました。

気候変動

温室効果ガス（GHG）の排出量を削減するよう半導体業界内で積極的に活動しています。

- ・ 2012 年の 242 万トンの二酸化炭素相当量から 2013 年の 233 万トンへと、TI の二酸化炭素排出量を 4% 削減しました。
- ・ 全世界で 112 件のエネルギー効率化プロジェクトを実施し、34,000 トンの二酸化炭素が大気中に排出されることを防ぎました。
- ・ GHG 排出量の報告義務規則に準拠して、EPA と共同で半導体メーカーの計算と監視の方法を改良しました。
- ・ ヨーロッパの社用航空機から発生する排出ガスを相殺するために、排出許容量（炭素クレジット）の取引を行う目的で使用する航空機運用者保有口座を開設しました。

エネルギー利用

私たちはエネルギー効率対策から節約慣行まで、エネルギー利用を削減するための包括的なアプローチを取っています。

- ・ 光熱費を 800 万ドル節約するという弊社の 2013 年の目標を上回り、1,020 万ドル節約しました。
- ・ 1,040 万英熱量または 30 億 3,500 万キロワット時を使用しました。これは、弊社の二酸化炭素排出量の約 59% に相当します。標準化エネルギー使用量は、2010 年に比べ 15% 減少しました。
- ・ エネルギー強度を 7 年前倒して 25% 削減し、米国エネルギー省の「優れた建物、優れた工場」プログラムの目標を達成しました。現在、32% 少ないエネルギー消費で同じ製造業務を実施しています。



環境への責任

交通システム

効率的な製品配送、保有車両、および従業員通勤プログラムにより、コスト低減、大気質向上、従業員の福利厚生向上を実現します。

- ・ 社員の 58% (全世界でおよそ 18,250 人) が在宅勤務用のリモート接続ツールを使用できるようになりました。
- ・ 連邦政府から資金提供を受けたプログラムを通して、ノース・テキサスの 12 拠点に 43 の電気自動車 (EV) 充電所を設置し、テキサス州スタッフオードの弊社拠点に 3 つの充電所を設置しました。この結果、米国の従業員が利用できる EV 充電所の総数が 74 に増えました。
- ・ シンガポール製品ディストリビューション・センターに在庫管理システムを導入しました。これにより、格納できる製品量が 4 倍になり、生産性が 40% 向上し、在庫の精度と可視性が大幅に改善されました。
- ・ 燃料費および産業費用の増加にも関わらず、製品量の統合、配送ネットワークの最適化、および有利な価格交渉により、経費を削減しました。
- ・ 自転車の利用に配慮する職場文化を促進する重要なステップとして、全米サイクリスト連盟から「自転車にやさしい事業」のブロンズ指定を受けました。
- ・ 13 か国の 32 拠点で、375 名が「自転車通勤週間」または「自転車通勤の日」に参加しました。この結果、212 ガロンのガソリンが節約され、1.8 トンの二酸化炭素排出を回避できました。

水利用

水を節約し、再利用しています。また、水質保全に取り組んでいます。

- ・ 水の総使用量を世界全体で 1% 削減しました。
- ・ 総使用量の約 29% に相当する水を再使用およびリサイクルしました。その結果、20 億ガロンの水を節約できました。これはオリンピックで使用する規模の水泳プール 3,030 杯分に匹敵します。
- ・ 19 件の水節約プロジェクトを実施し、2 億 4,800 万ガロンの水を節約し、994,000 ドルの経費を削減しました。

マテリアルの管理

購入する材料の効率を最大化して、責任ある方法で材料を調達し、可能なかぎり弊社の業務内外で材料をリサイクルするよう努力しています。TI では、各製品を効率的に使用し、可能なかぎりリサイクルするよう尽力しています。

- ・ 年間の世界全体での回収 (リサイクル) 率は 92.3% でした。
- ・ 廃シリコン・ウェハーをソーラー・パネル製造業者に販売することにより、32 トンの廃シリコン・ウェハーを廃棄せずに済みました。
- ・ 化学物質削減プログラムを継続し、製造拠点およびアセンブリ/テスト拠点ごとに 1 つ以上の化学物質を (リスクや危険度に基づいて) 選び、その使用量を 3% 以上削減するよう要請しました。
- ・ 2013 年の修理および修復プログラムを実施し、ツール部品の使用寿命の延長、交換コストの削減、使用済み部品の廃棄量低減を実現するため、ツール部品の修理を促進しました。



環境への責任

- ・ オフィスの紙類、アルミニウム、モバイル・デバイス、エレクトロニクス製品をリサイクルしました。また、堆肥にできる有機廃棄物を 900 トン以上リサイクルしました。
- ・ スパッタリング・ターゲットやフォトマスクなどの使用済み製造材料を再利用して、将来のターゲットのコストを削減するため、サプライヤに返送しました。

持続可能な拠点

私たちは、責任ある方法で資源を調達し、業務における非効率を減らして、従業員の権利を守るとともに、適用されるすべての法規を遵守することを目指しています。

- ・ ナノ材料の使用に関わる潜在的な環境、安全、健康へのリスクを特定するため SEMATECH および Engineering Research Center for Environmentally Benign Semiconductor Manufacturing と協力しました。
- ・ 老朽化した製造拠点 2 か所を閉鎖しました。これは、他の TI 施設で低コストかつ効率的に生産できる大型ウェハの需要が高まっているためです。
- ・ テキサス州シュガーランドで、米国グリーン・ビルディング協議会の LEED-NC（新建築物）プログラムに登録された新しいオフィスビルの建設を開始しました。

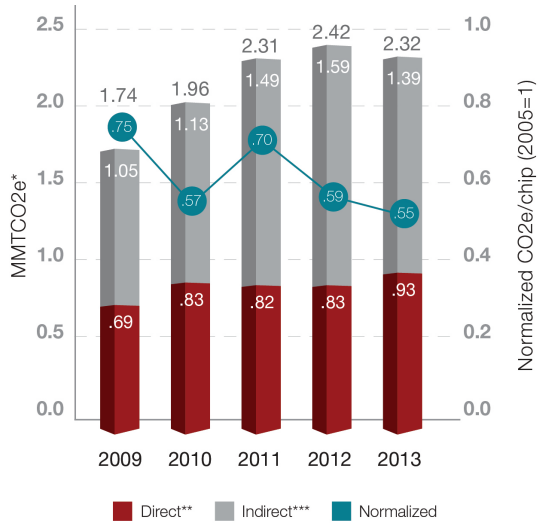
今後の計画：2014 年以降

- ・ エネルギーおよび水の節約プロジェクトを（各拠点で少なくとも 1 つ）実施することによって光熱費を 900 万ドル低減します。
- ・ GHG をさらに削減するため、米国内の拠点で低減テクノロジーを提供できる追加サプライヤを選定します。
- ・ 指定された拠点の大量輸送交通機関、通勤用相乗りバン、定期往復バス、施設内カフェテリアへの資金を援助することにより、通勤を支援したり、従業員の敷地内の行き来を減らします。
- ・ ノース・テキサスに水利用対策チームを結成して、その地域における弊社の水利用効率化の取り組みを戦略的に重点化し、さらに推進します。
- ・ 水使用量と水収支についての現在の基準をすべての拠点で確認および改善し、測定と報告の一貫性を確保します。
- ・ それぞれの製造拠点およびアセンブリ/テスト拠点で少なくとも 1 種類の化学物質の使用量を 5% 削減します。



環境への責任

Carbon footprint

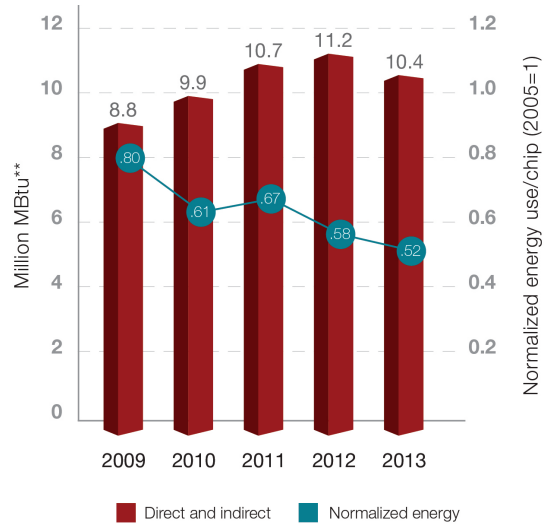


*Million metric tons equivalent carbon dioxide (MMTCO2e) is a unit of measure for greenhouse gas emissions. Emission totals are from global TI manufacturing sites only.

**Direct (scope 1) emissions include carbon dioxide (CO2), methane (CH4), nitrous oxide (N2O), hydrofluorocarbons, perfluorocarbons, sulphur hexafluoride and nitrogen trifluoride.

***Indirect (scope 2) emissions include CO2, CH4 and N2O.

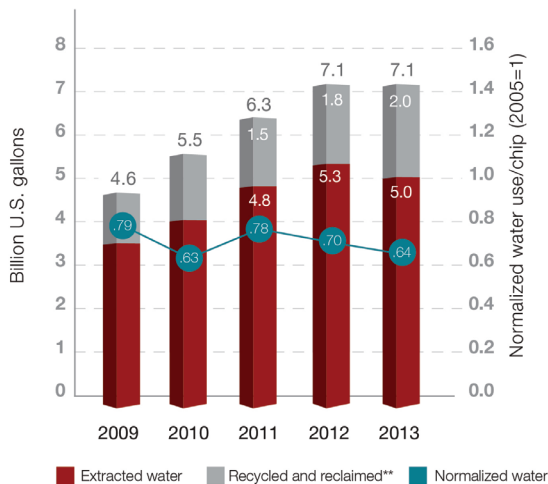
Total energy use*



*The total of all energy resources consumed by TI (direct and indirect). Approximately 21 percent of total energy purchased in 2013 was from renewable sources.

**Million metric British thermal units (MMBtu) is a measurement denoting the amount of heat energy in fuels.

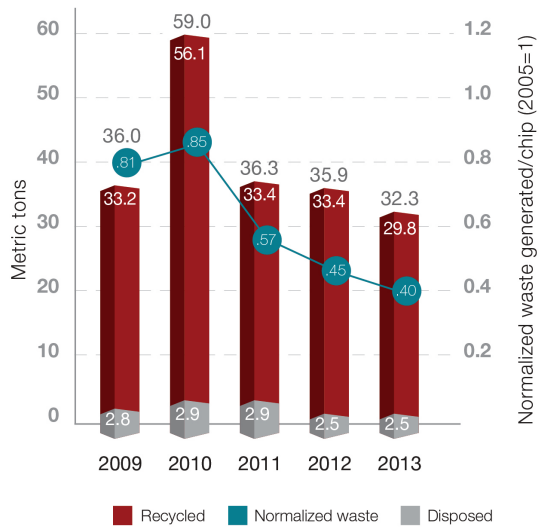
Total water use*



*Water obtained from local utilities and on-site wells. This does not include collected rain water or used once-through cooling water; water pumped from on-site wells at our Freising, Germany site for heat rejection, which is returned to the same aquifer.

**TI recycled and reclaimed 29% of total water use in 2013.

Total waste*



*Totals include all manufacturing sites, which account for the majority of waste, as well as some of our largest non-manufacturing sites.



従業員の福利厚生

私たちは、対象限定のトレーニングおよび能力開発を行った、協力的で多様性を受け入れる職場環境によってイノベーションが啓発されると信じています。

2013 年の実績

安全

従業員と職場の安全を保つプログラム、ポリシー、およびツールに多額の投資を行います。

- ・ 過去 1 年を通して、休業する、仕事に制限が生じる、または仕事の移管が生じる（DART）事例の発生率は 0.08、要記録事例発生率は 0.22 でした。米国半導体工業会の他のメンバーと比較すると、TI は引き続き、業界で最も安全な会社の 1 つです。
- ・ 人間工学関連の要記録負傷が 19% 減少し、DART 事例に該当する人間工学関連の負傷が 52% 減少しました。
- ・ すべての安全に関する事象を毎週確認し、適切な根本原因分析を直ちに実施しました。また、事例の記録と終結の方法を標準化し、適切な是正措置を取るよう拠点に通知しました。
- ・ 環境、安全、健康の指導に関するトレーニングを管理者全員が受講しました。

健康

総合的な福利厚生プログラムは、勤務中の従業員を保護し、従業員の特定の健康ニーズに対応するように設計されています。

- ・ 米国内での健康と福利厚生への投資が評価され、National Business Group on Health から「健康的なライフスタイルのためのベスト企業賞」のプラチナ受賞者として表彰されました。
- ・ 米国内の従業員向けに引き続き、集団検診と健康および福利厚生のリソースを提供しました。2012 年に集団検診に参加し、個人的な健康上のリスクが 3 項目以上見つかった従業員のうち 3 分の 2 が、2013 年には健康上のリスクが 2 項目以下に減少しました。
- ・ ウェイト・ウォッチャーズと連携し、体重管理サポートを従業員に割引価格で提供しました。約 200 人の参加者が合計 2,650 ポンド減量しました。
- ・ 現場での無料健康診断を従業員に提供しました。これには、血圧、肥満度指数、ウエスト・サイズ、中性脂肪、コレステロール、血糖値の測定が含まれており、従業員が健康問題の兆候を特定するのに役立ちました。
- ・ 中国の従業員向けに、新型鳥インフルエンザ A (H7N9) ウイルスに対する予防措置について説明を実施しました。また、5,700 人以上の従業員に対してインフルエンザの予防接種を無償で実施しました。

ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・サポートを提供するとともに、競争力のある給与と福利厚生、および昇進機会を提供しています。これにより、最高の人材を採用して継続的に雇用できます。

- ・ 全世界の 18,000 人以上の従業員（弊社社員の 58%）に、リモート接続と在宅勤務を実現するリソースとツールを提供しました。
- ・ コンシェルジュ・サービスを通して 8,600 件を超える従業員の要望に対処し、年間で推定 25,000 時間を節約しました。



従業員の福利厚生

- ・ 出産したばかりの女性、さまざまな年齢の子供を持つ親、年配の両親の世話をする従業員を対象としたオプトイン（承認型）Eメール・システムを引き続き提供しました。このシステムでは、同じような個人的困難に直面する人々が参加して、リソースの共有、サポートの要請、リソースについての質問が可能です。
- ・ WorldatWork のワーク・ライフ・バランス推進同盟から「ワーク・ライフ・シール・オブ・ディステインクション」を受賞しました。

給与と福利厚生

私たちは、競争力のある給与と福利厚生を提供しています。

- ・ 2013年に、全世界のすべての従業員の給料を上げ、利益配当により基礎収益の約5%（2012年の当社実績に基づく）を支払いました（独自に規定された利益分配計画があるフランスとメキシコを除きます）。
- ・ 米国内の従業員の401(k)貯蓄プランに6,240万ドルを支援しました。

多様性と包括性

私たちは、多様性のある社員がもたらすさまざまな経験、勤労形態、アイデアを通して、持続性のある競争上の優位性を実現できると考えています。

- ・ Barack Obama 政権の米国通商代表である Ronald Kirk を TI の取締役会に迎えました。彼は、取締役会に加わる2人目のアフリカ系アメリカ人です。
- ・ 取締役会のメンバーの40%以上が女性であることに対して、ニューヨーク女性フォーラムから「コーポレート・チャンピオン」と認定されました。
- ・ 世界中のアセンブリ/テスト拠点および日本と中国の弊社製造拠点に弊社の「女性のイニシアティブ」を拡大することを開始しました。
- ・ Hispanics by Hispanic Network Magazine の優秀多様性企業に選ばれました。
- ・ 全米女性企業家協会の「女性重役に適した米国企業トップ50」に選ばれました。

採用

私たちは、多様性があり革新的な社員、すなわち世界をより良いものにする革命的なテクノロジーを生み出したいと考えている人材が弊社に加わることを常に求めています。

- ・ 全世界で3,325名の新従業員を雇用しました。これには、970名の大学新卒者と930名のインターンが含まれています。
- ・ GettingHired と Equal Opportunity Publications のキャリア年次博覧会と提携し、米国内の有能な障がい者を勧誘しました。また、退役軍人多様性イニシアティブおよび RecruitMilitary と提携し、より多くの退役軍人に働きかけ、TIでの技術職やエンジニアリング職を勧めました。
- ・ 米国内の45の大学と世界の他の国々の学生にTIでのキャリアを勧めました。
- ・ ユニバーサムの「米国で最も魅力のある企業」トップ100およびアジア太平洋地域での「理想的な企業トップ50」に選ばれました。また、弊社はビジネス・インサイダーの「アメリカのベスト企業50社」にも選ばれました。



従業員の福利厚生

勤続

従業員の雇用と勤続を促すためのさまざまなプログラムおよびインセンティブを提供しています。

- ・ 2012 年に開始したワイヤレス事業部門の社員削減を完了し、テキサスと日本の古い製造施設 2 か所を閉鎖しました。影響を受ける従業員には、補償金、諸手当、就職活動のサポートなど幅広い支援を提供しました。
- ・ 中国の弊社製造拠点および最近取得したアSEMBリ/テスト拠点で働く優秀な従業員を継続的に雇用するため、プロセスを整備しました。
- ・ 弊社の雇用プロセスを評価し、マレーシアでの従業員定着率を改善するために、社内作業部会を設置しました。
- ・ 勤続年数の長い従業員を引き続き雇用しています。世界全体の弊社社員の平均在職期間はほぼ 12 年でした。25% が 10 年から 20 年 TI に勤務し、22% が 20 年以上勤務しています。

人権

従業員を公正かつ倫理的に扱うように尽力しており、サプライヤにも配慮と尊厳を持って従業員を扱うよう促しています。

- ・ ヒューマン・ライツ・キャンペーン財団の男性同性愛者、女性同性愛者、両性愛者、および性転換者の平等を基準にした米国企業平等インデックスで 90% のスコアを獲得しました。
- ・ 25 か所以上の TI 拠点を訪問し、人権ポリシー、報告プロセス、トレーニングの需要を確認しました。
- ・ 「サプライ・チェーンの透明化に関するカリフォルニア州法」を引き続き遵守しました。この法律は、企業に自社のサプライ・チェーンで奴隷制度と人身売買を撲滅するための努力に関して報告を求めるものです。
- ・ 120,000 人以上の従業員に対して、人権、倫理、コンプライアンスに関するトレーニング・モジュールを実施しました。また、セキュリティ担当者および派遣社員に、人権に関するトレーニングを実施しました。

能力開発

全世界の社員が学習し、実践し、成長するのを支援するために、さまざまなツールとリソースにアクセスできるようにしています。

- ・ 「Make an Impact」を立ち上げました。これは、大学新卒者の能力を高め、TI 従業員としての成長と成功を促進するための 1 年間の取り組みです。
- ・ 教室でのトレーニング・カリキュラムとその有効性を評価しつつ、弊社の継続的な改善プロセスを促進する、標準化された品質評価プロセスを実施しました。
- ・ 従業員 1 人あたり平均 32 時間を超えるトレーニングを実施しました。
- ・ 3,325 名の新従業員を迎え、最初のオリエンテーションを実施しました。
- ・ 400 人以上の熟練エンジニア向けに 4 日間の短期集中講座を開催し、お客様向けの設計作業の品質向上につながる、最先端のエンジニアリング技術を教えました。
- ・ 弊社の包括的な「Choose to Lead」プログラムの招待者を 335 名の新人マネージャまで拡大しました。このプログラムには、正式なワークショップ、オンライン・リソース、および 360 度評価が含まれています。



従業員の福利厚生

- ・ TI のテクニカル・ラダーへ 349 名の従業員を選出し、昇進させました。これは評判のプログラムで、技術上または生産上の重要な貢献をした従業員を高く評価するものです。
- ・ 464 名の従業員の教育をさらに支援するため、弊社の教育支援プログラムを通じて 220 万ドルの受講料を返還しました。

評価

私たちは、従業員の価値とコミットメントに感謝の意を表わすことで従業員と理解し合い、従業員の意欲が高まり、従業員と価値観を共有できる度合いが増すということを、何年も前に発見しました。

- ・ 弊社の「イノベーター・イン・アクション」表彰プログラムを復活させ、TI を差別化し、お客様に価値を提供する革新的な製品やプロセスを開発した従業員を表彰しました。
- ・ 新しいイニシアティブ「DIY (Do It Yourself) with TI」を立ち上げました。これは、勤務時間外に TI のデバイスを使用する社内の愛好家によるイノベーションを促進するものです。
- ・ 米国内のマネージャが、非現金項目への貢献に対して約 5,200 人の従業員を表彰しました。
- ・ TI の価値を具体化し、安全と環境の目標を積極的に達成したことに対して、ドイツ、フィリピン、日本、およびメキシコの従業員が、2013 年の「環境、安全、健康優秀賞」を受賞しました。
- ・ 462 名の従業員が TI での勤続 5 年の表彰を受け、231 名の従業員が勤続 25 年の表彰を受けました。

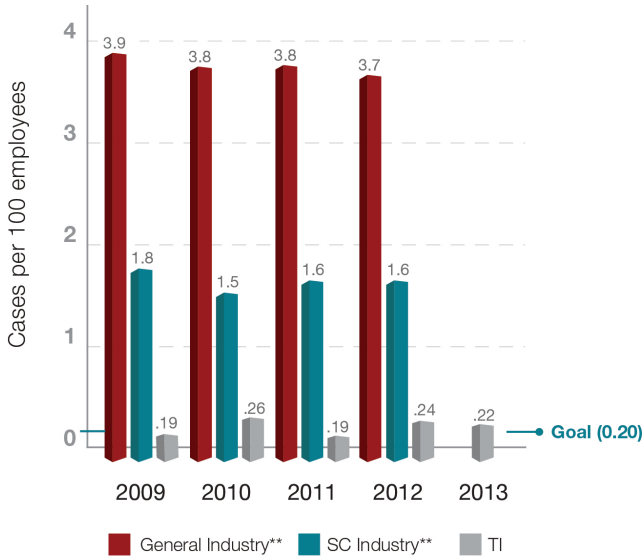
今後の計画：2014 年以降

- ・ DART 事例の発生率を 0.08 以下とし、勤務中の要記録負傷率が 0.20 を下回るようにします。
- ・ 中国の成都の弊社拠点で、国際標準化機構の ISO 14000 と OHSAS (Occupational Health and Safety Assessment Series) 18000 規格の認定を受けます。
- ・ 健康推進フェア、集団検診、ウエイト・ウォッチャーズの会議、健康教育活動を実施します。
- ・ マネージャの多様性と包括性に関する期待と役割をより明確に定義し、マネージャのリーダーシップ技術を高めます。
- ・ 米国内の退役軍人、マイノリティ、障がい者への採用の働きかけを増やします。
- ・ 従業員のワーク・ライフ・イニシアチブおよびフレキシブルな労働オプションに関する啓発を行い、それらの利点とツールの利用を奨励します。
- ・ 従業員の医療貯蓄口座への寄付を増やします。定額控除の大きい保険制度に資金を毎年提供し、従業員が非課税の医療費を利用できるようにします。
- ・ 社会的責任と人権に関する規範と活動について議論し確認するよう弊社の工場とサプライヤを促します。
- ・ 成果管理キャンペーン「パフォーマンス・マターズ」を実施し、従業員とマネージャの間で行う成果に関するディスカッションを一貫性があり有意義なものにします。



従業員の福利厚生

Recordable injury cases*



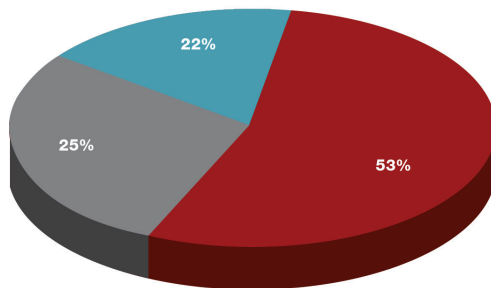
*Work-related injury (rate per 100 employee-years) that requires treatment beyond first aid or results in lost time or restricted job duties for one or more workers as defined by the U.S. Occupational Safety and Health Administration.

**Industry data was provided by the U.S. Occupational Health and Safety Administration and the Bureau of Labor Statistics. Statistics represent U.S. performance only. Semiconductor (SC) and general industry data for 2013 were not available at the time of report development.

Composition of governance bodies

Employee type	Board (%)	Executive officers (%)
Male	64	80
Female	36	20
Age: <30 years	0	0
Age: 30-50 years	9	33
Age: >50+ years	91	67
Ethnic minority	27	7

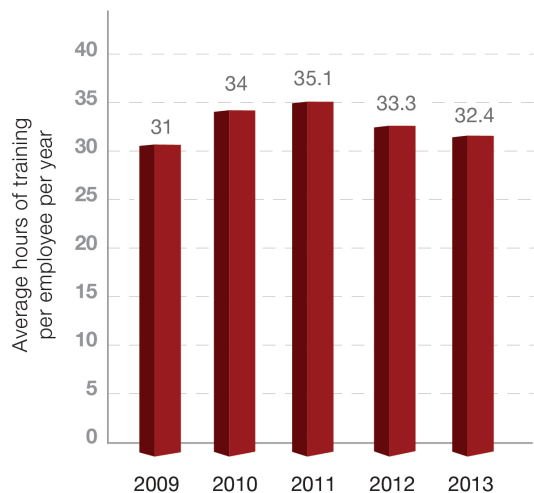
Employee tenure*



*The average tenure per employee globally was 12 years.

- Global employees: <10 years of service
- Global employees: 10+ years of service
- Global employees: 20+ years of service

Average hours of training





地域へのコミットメント

私たちは、強力な企業は強力なコミュニティを築き、強力なコミュニティが強力な企業を築くと確信しています

2013 年の実績

寄付

私たちは、事業を運営している地域で、イノベーション能力を強化し、生活の質を向上するイニシアチブをサポートしています。

- ・ 企業基金から 2,790 万ドルを寄付し、数多くの機関、大学、プログラム、および慈善事業を支援しました。具体的には次のような支援が含まれます。
 - TI は 1,500 万ドルを TI 財団に提供しました。TI 財団は、2013 年に 1,400 万ドルを寄付しました。そのうち、320 万ドルはユナイテッド・ウェイに、69 万ドルはその他のコミュニティ投資プログラムに寄付しました。
 - TI 財団と TI 従業員は、フィリピンでの台風ハイエンによる被害救済のために 27 万ドルを米国赤十字に寄付しました。TI は、100 万人民元（約 161,000 ドル）を中国青少年発展基金に寄付し、マグニチュード 7.0 の雅安地震で被災した学校の再建を支援しました。
- ・ 従業員は、個人的な寄付または TI 主催のキャンペーンや活動を通して、価値のある多くの目的のために 570 万ドル以上を寄付しました。
- ・ TI シリコン・バレーは、コミュニティへの貢献に対して、シリコン・バレー・ビジネス・ジャーナル紙から「優秀な慈善活動企業」として表彰されました。

教育

将来の労働者の教育を促進し、技術発展を継続するために、科学、技術、工学、および数学 (STEM) 教育に対し、特に米国において多額の投資をしています。

- ・ 35 か国の大学と提携して、最新のアナログおよび組み込みテクノロジーを工学カリキュラムに統合しました。
- ・ TI イノベーション・チャレンジ設計コンテストを 12 回開催し、全世界の有名大学から 33,483 名の学生が参加しました。このコンテストでは、先見性のある将来有望な学生がアイデアを共有することを促し、その情熱を TI でのキャリアで実現できるように奨励しました。
- ・ K-12 教育プログラムを支援するために、650 万ドル以上を寄付しました。
- ・ 教師をサポートし、学生が STEM の基礎を理解するのに役立ち、授業をより刺激的なものにするカリキュラムやツールを提供しました。
- ・ 中国の教育改革を支援するため、有名大学と提携し、カリキュラムを強化しました。また、基礎教育の質を高めるための取り組みとして、多くの実践的な体験とトレーニングを学生に提供しました。
- ・ 中国中央部および西部の貧困地域の学校に 100 個のマルチメディア教室を寄付し、テクノロジーを活用して学習効果を高める方法について教師を指導しました。



地域へのコミットメント

ボランティア活動

- ・ 従業員が 61,000 時間（約 140 万ドル相当）をコミュニティ組織のボランティア活動にあてることができました。
- ・ 記録されている米国でのボランティア活動時間が 33.3% 増加し、弊社の目標値 25% を上回りました。
- ・ より多くの従業員が地域コミュニティに貢献するよう促すために、地域活動参加プログラムを拡大しました。
- ・ 従業員がより有能な取締役として活動できるように、米国において 125 名のコミュニティ大使をトレーニングしました。
- ・ TI および TI 財団の助成金受領者と協力して教育およびコミュニティへの投資プログラムをサポートする、戦略的なボランティア活動の機会を従業員に提供しました。

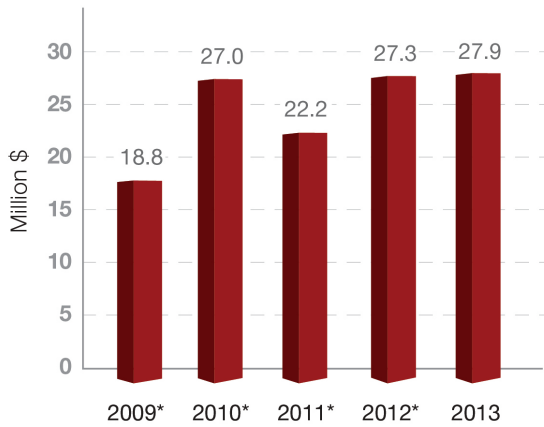
今後の計画：2014 年以降

- ・ 弊社の影響を拡大し、TI 拠点のある各地のコミュニティをサポートする機会を従業員にさらに提供するために、世界中の慈善活動プロセスを評価します。
- ・ インドの新しい会社法の法令に準拠します。指定されたプロセスに従い、最小限の支援で企業の社会的責任プログラムをサポートする必要があります。
- ・ 弊社として初の中国青少年発展基金会プロジェクト・ホープ・スクールを開校し、より多くの生徒が教育を受けられるようにします。
- ・ STEM カリキュラム、ラボ、学習テクノロジーを提供し、また、米国内の選ばれた高校および大学と戦略的に提携して、関連する学位の取得やキャリアの実現に対する学生の興味を刺激します。
- ・ 専門的能力開発プログラムとコンテンツの提供を拡大し、米国の教育者が全米共通学力標準や次世代科学基準を授業に取り入れるのを支援します。
- ・ 弊社のテクノロジー・ロードマップに沿った研究プログラムを実施している大学に大きく投資します。
- ・ 世界各地の大学で弊社のアナログ電源カリキュラム・サポートを拡大し、組み込みテクノロジーのカリキュラムへの統合をさらに推奨します。
- ・ 従業員の寄付とボランティアのためのワンストップ・ポータル「Get Involved」を立ち上げます。
- ・ 世界中の従業員のボランティア活動時間を 25% 増やします。



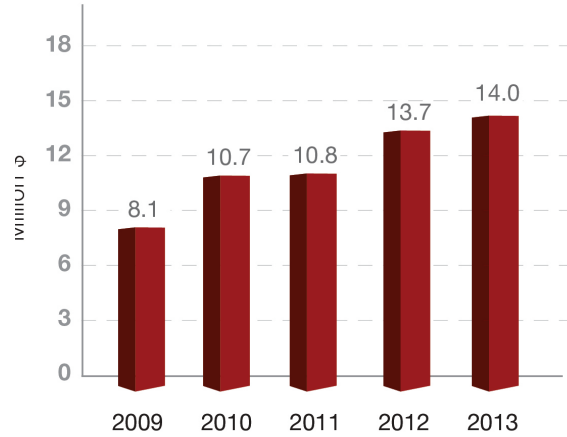
地域へのコミットメント

Corporate giving



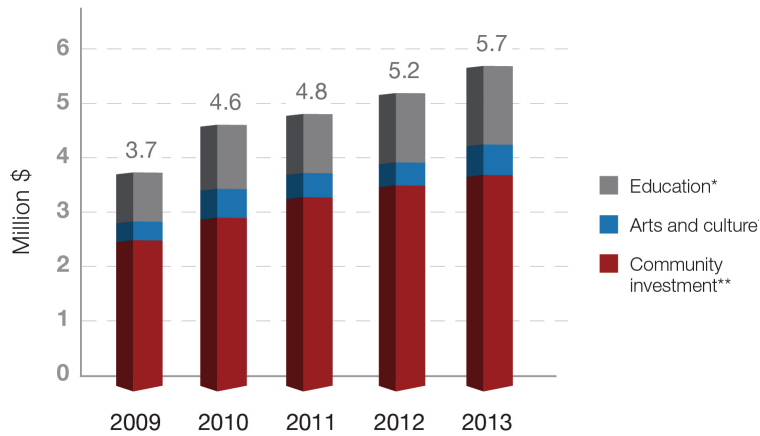
*Does not include gifts-in-kind.

TI Foundation giving*



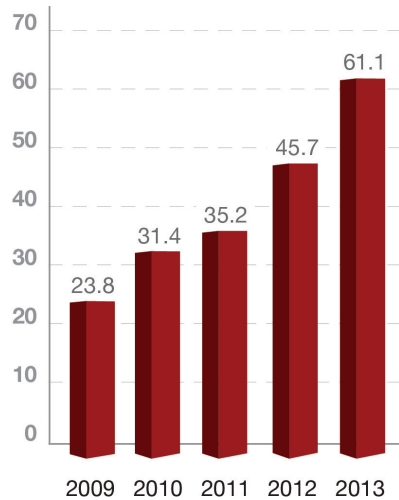
*Includes grants to eligible organizations, in addition to employee matched contributions and Volunteer Incentive Program grants.

Employee giving



*Giving tracked through the U.S.-based TI Foundation matching gifts program.
 **Includes health and human services, United Way, disaster relief and other. Disaster relief includes employee gifts in support of domestic and international disaster relief efforts but does not include value of employee volunteer hours.

Total volunteer time



*These are estimates based on tracked volunteer activities only.



アドボカシー

私たちは株主、従業員、およびお客様に対し、事業目標を達成して、当社の利益を増やし保護し、社会的義務を果たすのに役立つ責任ある管理方針を推進する義務があります。

2013 年の実績

- ・ 成長、イノベーション、および競争力をサポートするポリシーを掲げました。
- ・ 半導体分野に影響のある輸出管理の改革について米国政府と緊密に協力しました。
- ・ 情報技術協定を拡大する取り組みと、欧州連合および環太平洋パートナーシップの経済圏との主要貿易協定を締結する取り組みをサポートしました。
- ・ 議員との協力によりエネルギー効率の高いクリーン・エネルギー・テクノロジーの開発を促進し、オートモーティブの安全性とイノベーションにおけるエレクトロニクスの重要性を啓発しました。
- ・ 各種擁護団体に対して、会費、ロビー活動への参加、またはその両方として 160 万ドルを支払いました。

今後の計画：2014 年以降

- ・ 取引と成長機会を通して市場アクセスを拡大する取り組みを継続します。
- ・ 業界団体でのリーダーとしての役割を継続し、優秀な労働者のための十分な研究費と移民改革を通してイノベーションを推進します。
- ・ 堅実で世界的な競争力のある税務政策を通して、好ましい事業環境を形成する努力を続けます。



コーポレート・ガバナンス

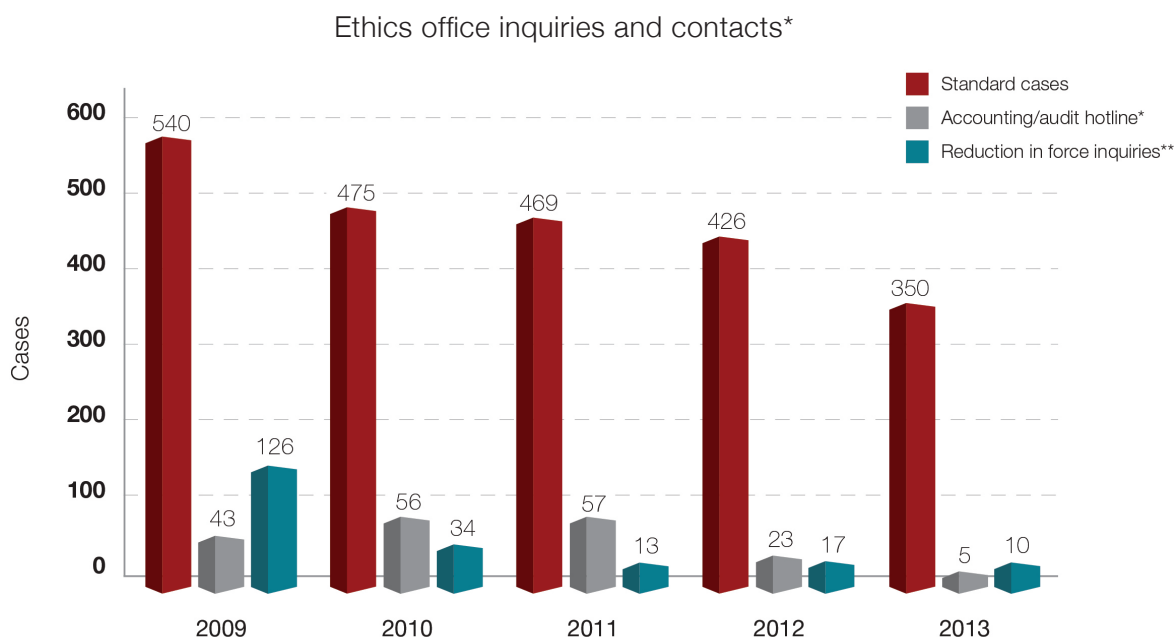
私たちは、長期的な成功のためには優れたコーポレート・ガバナンスが不可欠であると確信しています。

2013 年の実績

- ・ 新しい 2 人の取締役メンバーとして、Flowserve Corp. の社長兼最高経営責任者である Mark A. Blinn と Barack Obama 政権の米国通商代表である Ronald Kirk を迎えました。
- ・ 重大な事故は発生しませんでした。また、環境、労働、人権、収賄、汚職に関する法律に関係のある事項を含む法的事項による重大な罰金を科せられることはありませんでした。
- ・ 32,000 人以上の従業員に対し、TI の「エシックスおよびコンプライアンス意識向上プログラム」と「ビジネス行動規範」に関するトレーニングを実施しました。また、31,500 人以上の従業員に対し、職場でのハラスメント防止と秘密情報の保護に関するトレーニングを実施しました。

今後の計画：2014 年以降

- ・ リスクの高いサプライヤを特定し監査する方法を EICC プロトコルに合わせて変更します。
- ・ 選ばれた従業員に対して、EICC 行動規範に関するトレーニングを引き続き実施します。これには、倫理的な意思決定、輸出コンプライアンス、環境、安全、健康に関する実施計画、セクシャル・ハラスメントの防止、連邦海外腐敗行為防止法、個人情報保護の方法が含まれます。
- ・ 2015 年前半に eBook（電子書籍）形式で公開された TI のビジネス行動規範を更新し、社内および社外のステークホルダーの教育に役立てます。



*None of the inquiries or contacts presented an actual accounting or audit issue.

**Employee calls; primarily from those affected by downsizing.

テキサス・インスツルメンツのコーポレート・シティズンシップは従業員から始まり、皆さんによって強化されます。 citizenshipreportfeedback@list.ti.com または弊社のソーシャル・メディア（Twitter の @AroundTI および Facebook の Texas Instruments）から、ご意見・ご質問をお寄せください。年間を通して最新情報を www.ti.com/citizenship で公開しています。



Company headquarters

12500 TI Boulevard

Dallas, TX 75243

www.ti.com

本書にはリスクや不確定要素を含む将来の予測に関する記述が含まれており、予測と大きくかけ離れた結果となる可能性があります。この「将来の予測に関する記述」（TI の製品およびテクノロジーから予測される収益および利益に関する記述や TI の期待、計画、意図、目標などの記述）は 1995 年に成立した民事証券訴訟改革法により規定される法的責任からの免責条件を満たすことを意図しています。事業運営の将来の業績に大きく影響するリスクや不確定要素についての詳細は、TI の最新の年次報告書をご覧ください。将来の予測に関する記述に対し、本書発行以後に進展した結果を更新する意思や義務はないものとします。

プラットフォーム・バーはテキサス・インスツルメンツの商標です。その他の商標および登録商標はそれぞれの所有者に帰属します。